

FOR PERSONAL COMPUTER BEGINNERS

はじめる ホームページ HTML編

グエル 鈴木真里子著



別冊

付録付き

●ホームページ作成に必須の

基本用語集

●これは便利!

無料素材集

ホームページ紹介

●これだけはおさえておきたい

基本タグ一覧表

SE
SHOEISHA

本書内容に関するお問合せについて

このたびは翔泳社の書籍をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。弊社では、読者の皆様からのお問い合わせに適切に対応させていただくため、以下のガイドラインへのご協力をお願い致しております。下記項目をお読みいただき、手順に従ってお問い合わせください。

●ご質問される前に

弊社Webサイトの「Q&Aコーナー」(<http://www.shoeisha.com/info/help.asp>)をご参照ください。これまで受けたご質問への回答(FAQ)や、的確なご質問方法に関する情報を掲示しています。

●ご質問方法

弊社Webサイトの専用フォームサイト(<http://www.shoeisha.com/book/qa/>)をご利用ください。記載漏れや独自の用紙等によるご質問、お電話や電子メールによるお問合せ、本書にはさみ込まれたアンケートはがきに記入されたご質問等は、お受けしていません。

※質問専用シートのお取り寄せについて

Webサイトにアクセスする手段をお持ちでない方は、ご氏名、ご送付先(ご住所/郵便番号/電話番号またはFAX番号/電子メールアドレス)および「質問専用シート送付希望」と明記のうえ、電子メール(qaform@shoeisha.com)、FAX、郵便(80円切手をご同封願います)のいずれかにて「編集部読者サポート係」までお申し込みください。お申し込みされた手段によって、折り返し質問シートをお送りいたします。シートに必要事項を漏れなく記入し、「編集部読者サポート係」までFAXまたは郵便にてご返送ください。

●ご回答について

ご回答は、ご質問いただいた手段によってご返事申し上げます。ご質問の内容によっては、回答に数日ないしはそれ以上の期間を要する場合があります。

●ご質問に際してのご注意

本書の対象を越えるもの、記述個所を特定されないもの、また読者固有の環境に起因するご質問等にはお答えできませんので、予めご了承ください。

●郵便物送付先およびFAX番号

送付先住所 〒160-0006 東京都新宿区舟町5
FAX番号 03-5362-3818
宛先 (株)翔泳社出版局 編集部読者サポート係

.....
※本書に記載されたURL等は予告なく変更される場合があります。

※本書の出版にあたっては正確な記述につとめました。著者や出版社などのいずれも、本書の内容に対してなんらかの保証をするものではなく、内容やサンプルに基づくいかなる運用結果に関してもいっさいの責任を負いません。

※本書に掲載されているサンプルプログラムやスクリプト、および実行結果を記した画面イメージなどは、特定の設定に基づいた環境にて再現される一例です。

.....
Microsoft、Windows、WindowsNT、Windows2000は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

はじめに

この本を手にとった人であればご存じとは思いますが、HTMLはウェブページを作るための特殊な言語です。HTMLを覚えなくても、ウェブページ作成ソフトなどを使えば簡単にウェブページを作ることができます。しかし、ウェブページ作成ソフトは、通常の文書をHTMLに翻訳してくれる翻訳ソフトのようなもの。HTMLを持つ本来の機能を存分に引き出し、思い通りのウェブページを作るには、自分でHTMLを覚えるのが一番です。

本書では、実際のウェブページを例にとつて、HTMLでの作り方を一から説明していきます。といっても、作り方だけを説明して「この通りに作りなさい」という本ではありません。手順の説明だけでなく、なぜその手順が必要なのか、どう設定すればよいウェブページになるのかといったセオリーも含めて解説します。また、サイトとしてまとまりのあるウェブページを作るポイントや、インターネットでみんなに見てもらえるように公開する方法についても説明します。これからHTMLを覚えようと思っている人はもちろん、ウェブページを作る人すべてに読んでもらいたいと考えて書いた本です。

本書はHTMLのタグ（命令文）をすべて網羅する本ではありません。ウェブページの作成に不可欠なタグ、知っておくと便利なタグ、ウェブページを作る人間として知っておくべきタグを厳選して取り上げています。また、ブラウザの種類によって機能しないタグはできる限り避け、誰にでも楽しんで見てもらえるウェブページを作れるように配慮しています。

HTMLの基本と使い方のマナーを身に付けるために、本書をお役立ていただければ幸いです。

本書を使い始める前に...

1

はじめのシリーズの特徴・ 本書の読み方・読み方の一例

① はじめのシリーズの特徴

- ① 理解を深めるイラストが豊富です。
- ② 1冊で基礎から使い方の応用までがわかります。
- ③ ソフトウェアの操作だけでなく、必要な知識の解説にも十分なページを割いています。

② 本書の読み方

《ウェブページを作るのが
はじめての方へ》

本書は、ウェブページをはじめて作る方のために、HTMLの書き方だけでなく、ウェブサイトやインターネットについての知識も深められるよう、イラストと画面を豊富に掲載しています。はじめから順を追って読んでください。

《必要な操作だけを
習得したい方へ》

本書はすべて読み切り形式になっています。操作手順を先に実行して、後から解説を読んでもかまいません。自由にやりたい操作から読んでください。

③ 読み方の一例

- ① 章頭の「この章でできること」や見出しから、やりたい操作を見つけてみます。
- ② 右ページには主にこの操作の概要が解説されています。
- ③ 操作手順の解説に移ります。画面に沿って操作を試してください。
- ④ ヒントには、このトピックに関連して役に立つ情報を記載しています。
- ⑤ レベルアップテクニックは、さらに一歩進んだ操作をマスターしたい方に最適のページです。必要に応じてご覧ください。
- ⑥ 章末のトラブルシューティングでは、さまざまな疑問が、Q&A形式で解説されています。必要に応じてご覧ください。

右ページのサンプル



操作の見出し
具体的な操作の見出しが右ページの端に配置されています。

ウェブページにおける文字の入力。
飾らない文字を入力する。

●まず半角文字入力から
前項までで、ページ全体の書式設定は完了。ここからは、実際のページに添えられる文字の設定に入ります。
ウェブページには、文字だけでなくさまざまな書式設定やリンク設定を行なうためのタグも入力しますが、慣れないうちは文字とタグを離れ、文字を入力していくより、先に必要な文字を入力して全体のバランスを見てタグを設定していく方が効率的です。

●改行書式設定はすべてはタグが必要
文字の入力方法は、ワープロソフトなどとはほぼ同じです。入力が終わったら、ブラウザで確認します。すると、HTML文書で入れたはずの改行が、実際のページでまったく役立たずなことおぼろげにわかるでしょう。HTML文書では、[Enter]キーによる改行は無視されてしまいます。改行や文字に関する書式設定も、すべてタグで行なうのがHTMLの決まりごとです。

●トップページに入力すべき内容
トップページはサイトの玄関。そのサイトが何のためのサイトで、どんな項目を取り上げているのか、パッと見てわかるようにしなければなりません。

●文脈は細部に斜め読みで
さるまじに読みます。
統計的に見て、ウェブページを隅から隅まで読む人はほとんどいません。なぜなら、現状のパソコンの画面は、印刷物ほど見やすくないからです。

そのため、サイトを訪れた者は、雑然のように斜め読みして、自分の探す情報がなければさっさと次のサイトに行ってしまう。

多くの人は読んでほしい情報を隅から隅まで読むのではなく、初めに段落を区切り、相対的に見出しや総括する見出しを付けること。そうすれば、読者は情報を斜め読みできるよになり、より親切なページになることでしょう。

【関連情報】改行と改段を使い分け、本文を見やすく入力 30ページ

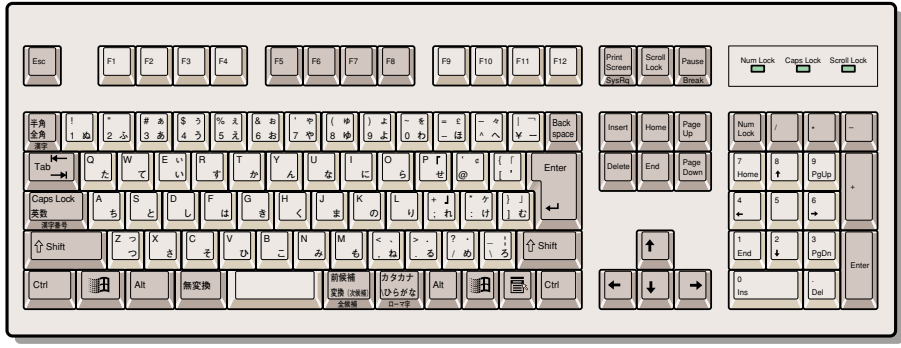
概略説明
この操作に関する総合的な知識を得られるように、操作の意味や理由も含めて記述しています。

関連事項
ページの内容及び関連が深く、参照した方がよいページを掲載しています。

4 キーボードの表記

キーボードはいわゆる互換機用の109キーボードの表記を標準としています。

4 109キーボードの例



5 キーの押さえ方

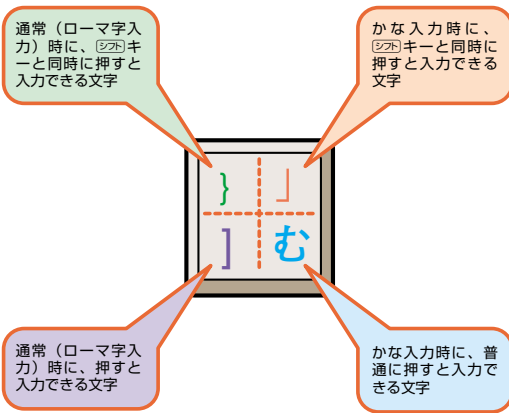
キーボードの基本的な押さえ方は左図のとおりです。
また、一部の109キーボードの表記には、実際の動作と異なるキーがいくつか存在するので注意が必要です。

5 キーの文字と入力される文字の関係と表記の異なるキー

~ を / 0 わ → ^ へ

☐ を入力するにはシフト+0ではなくシフト+Aを押す。

▽ キーを押すと実際には¥記号が入力される



6 本書の表記

本書では「Internet Explorer」などの名称は「インターネットエクスプローラ」と表記しています。
誰にでもわかりやすいように、英語の呼称「Windows」などは「ウィンドウズ」とカタカナで表記しています。

・ 「CTRL」キーなどの表記はすべて「コントロール」というようにカタカナになっています (左図参照)。
・ メニューやダイアログの項目は「記号で囲んでいます」。
・ 本文中では、登録商標や商標の明記は特にしていません。

6 特殊キーのカタカナ表記対応表

Esc → エスケープ	Home → ホーム
Tab → タブ	End → エンド
Ctrl → コントロール	Page Up → ページアップ
Caps Lock 英数 変換 → キャスロック	Page Down → ページダウン
Shift → シフト	Enter → エンター
Backspace → バックスペース	Print Screen → プリントスクリーン
Alt → オルト	Scroll Lock → スクロールロック
Insert → インサート	Pause Break → ポーズ
Delete → デリート	Num Lock → ナムロック

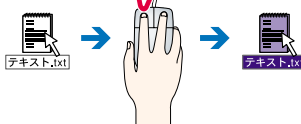
⑦ マウスの使い方

マウスの基本的な使い方をさらさらしておきましょう。

1 左ボタンを1回押して、すぐに離します。これを「クリック」と呼びます。最も基本的な操作です。



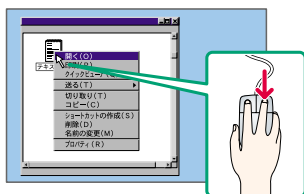
主に何かを選択するとき
に使用します



3 右ボタンを1回押して、離します。これを「右クリック」と呼びます。



状況に応じた特別
なメニューを
表示します



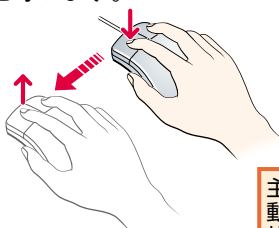
2 クリックの動作をすばやく2回繰り返します。これを「ダブルクリック」と呼びます。



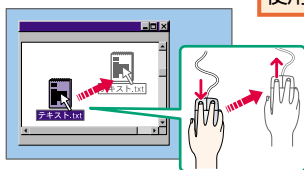
プログラムを起
動したりする
ときに使用します



4 左ボタンを押したままマウスを引きます。目的の位置でボタンを離します。これを「ドラッグ」と呼びます。



主に何かを移
動する
ときに使用
します



⑧ ショートカットキーの押さえ方

コントロール + T という表記がある場合は…



⑧ ショートカットキー

「ショートカットキー」とは、同時に2つのキーの組み合わせを押すことで、メニューをマウスで選ぶ操作を代用することです。「コントロール + T」なら「コントロール」と「T」のキーを同時に押すということを意味しています。「コントロール」キーを先に押したままの状態では、次に「T」キーを押してもかまいません。

はじめに	iii
本書を使い始める前に	iv

第1章

HTMLの基本

① ウェブページの正体は HTMLで書かれた文書のこと ●ウェブページとHTMLの基礎知識	1
② ウェブページはサーバーにのせて 初めてインターネットにデビューできる ●インターネットに公開すること	4
③ ウェブページをインターネットに 公開するまでの流れをつかむ ●初めてサイトを作るときの手順	6
④ ウェブページを作るために用意する道具 ●ウェブページ作成に必要なものを揃えよう	8
⑤ HTMLを覚えることのメリット ●HTMLファイルを作るためのソフトウェアについて	10
●トラブルシューティング 「HTMLは誰が考え出したのですか」 「最新のブラウザを入手する方法がわかりません」 「秀丸エディタを入手する方法がわかりません」 「自分のウェブページを持つのにお金はかかりますか」	12

第2章

ウェブページを作ってみよう

●この章でできること	14
⑥ 文書の最初にHTML文書であることを宣言するべし ●タグでタグの基本を学ぶ	16
⑦ ウェブページをヘッダ部とボディ部に分け、 ページタイトルをつける ●<HEAD>タグ、<BODY>タグ、<TITLE>タグで文書の構成を指定	18

第3章

画像を貼ろう

- この章でできること 42
- 16 ウェブページに画像を表示させる ●タグでウェブページと画像を結ぶ 44
- 17 画像のマネー1 画像が表示されないときのテキストを入力する
●ALT=★>タグで画像の代わりに文字を表示 46
- 18 画像のマネー2 画像の大きさを指定する
●WIDTH=〇"HEIGHT=×>タグによるサイズ指定 48
- 8 HTML文書として保存し、ブラウザで途中経過を確認する
●HTML文書の保存、ブラウザで開く 20
- 9 ページの背景に色を付ける ●<BODY BGCOLOR=★>タグで色指定の基本をおさえる 22
- 10 基本の文字色を指定する
●<BODY TEXT=★>、<BODY LINK=★>、<BODY ALINK=★>、<BODY VLINK=★>で文字色指定 24
- 11 ウェブページにおける文字の入力 ●飾らない文字を入力する 26
- 12 見出しの文字サイズを階層がわかる大きさにする ●<H★>タグで見出しサイズを指定 28
- 13 改行と改段を使い分けて、本文を見やすく入力 ●
タグ、<P>タグで行を改める 30
- 14 文字の位置を左、中央、右に寄せる
●<CENTER>タグ、<H★>ALIGN=★>タグ、<P ALIGN=★>タグ、<DIV ALIGN=★>タグ 32
- 15 横野線を引く、野線の長さを変える ●<HR>タグ、<HR WIDTH=★>タグで野線を指定 34
- 1 色を自由に使いこなす ●色指定に便利なチャート 36
- 2 <META>タグで読者を引き寄せる ●キーワードや著者名を<META>タグで指定
●トラブルシューティング 「ファイル名には大文字を使えないのですか」
「入力した文字がブラウザで見えないのですが」
「HTML文書を修正してもブラウザで直りません」
「トップページには目次を入れないといけませんか」
「画面には表示されないメモ書きを残す方法はありませんか」 38

第4章

デザインにこだわる

19 背景を画像ファイルで埋め尽くす ●BODY BACKGROUND属性で背景に画像ファイルを指定 50

20 画像の横に文字を回り込ませる、回り込みを止める

●★ALIGN=#☆タグ、<BR CLEAR=#☆タグ 52

21 文字と画像の揃え方を指定する ●★ALIGN=#☆タグで文字を画像の上・中・下に揃える 56

22 画像の周りに枠線を表示する ●★BORDER=#☆タグで画像に枠を付ける 58

23 画像と文字の間隔を空ける ●★VSPACE=#○<HPSPACE=#>タグで文字との間隔を指定 60

3 ウェブページで効果的な画像ファイルのサイズと形式 ●GIF、JPEG、PNGを使い分ける 62

4 音声や動画を使う ●音声ファイル、動画ファイルをウェブページに貼る 66

●トラブルシューティング 「貼ったはずの画像が表示されないのですが」

「マイコンピュータで見ても拡張子がわかりません」
「イラストやボタンをうまく作れないのですが」 68

●この章でできること 70

24 箇条書きのリストを作る ●タグとタグでリスト形式に表示 72

25 リストの行頭記号を別の記号や数字に変える

●<UL TYPE=#>★タグで別の記号に、タグで連番にする 74

26 リストの中をさらにリストで細分化 ●階層構造のリストの作り方 76

27 用語と説明文を定義リストにまとめる ●<DT>タグ、<DD>タグ、<DD>タグで用語と説明をリスト化する 78

28 横野線の太さ、位置、色を変える

●<HR>タグのSIZE属性、ALIGN属性、NOSHADOW属性、COLOR属性でデザイン変更 80

29 特定の文字だけ色を変える、サイズを変える

●タグのCOLOR属性で色指定、SIZE属性でサイズ指定 82

30 フォント名で文字デザインを指定する ●タグのFACE属性でフォントを指定 86

5 文字に動きをつけて目立たせる ●<BLINK>タグ、<MARQUEE>★タグで文字を動かす 90

6 これからのデザイン指定はスタイルシートを使う ●スタイルシートの基本 92

第5章

テーブル(表)を使う

- 7 上付・下付・ルビなど、特殊な文字を表示する ● <SUP>タグ、<SUB>タグ、<RUBY>タグで書式指定…………… 94
- 8 ウェブページにマージンを指定する ● <BODY>タグにマージン属性を付ける…………… 96

● トラブルシューティング 「簡条書きの番号を1以外の数字から始めたいのですが」

「フォントはどのような基準で選べばよいのですか」

「1ページが長すぎるといけないのですか」…………… 98

- この章でできること…………… 100

- 31 テーブルを作る、テーブルの枠を表示する…………… 102

● <TABLE BORDER=>★</TABLE>、<TD>タグで表の形にする……………

- 32 列見出し、行見出しを入力する ● <EY>タグで表に見出しを付ける…………… 106

- 33 テーブル・列・行のサイズを指定する…………… 108

● <TABLE>タグ、<TR>タグ、<TD>タグにWIDTH属性とHEIGHT属性を指定……………

- 34 複数のセルを連結して使う ● <EY>タグ、<TDY>タグにROWSPAN属性、COLSPAN属性を指定…………… 112

- 35 テーブルにタイトルやキャプションを付ける ● <CAPTION ALIGN=>★</CAPTION>タグでキャプションを付ける…………… 114

- 36 テーブルやセルの背景色を指定する…………… 116

● <TABLE>タグ、<TR>タグ、<TD>タグにBACKGROUND属性を指定する……………

- 37 テーブルを左・中央・右に寄せる。表の横に文字を回り込ませる…………… 118

● <TABLE ALIGN=>★</TABLE>、<BR CLEAR=>★</BR>……………

- 38 セル内でのテキスト配置を指定する ● <EY>タグ、<TDY>タグにALIGN属性を指定する…………… 122

- 39 セルとセルの間隔、セルからテキストまでの間隔を指定する…………… 124

● <TABLE CELSPACING=>★"CELLPADDING=>★</TABLE>……………

- 40 テーブルやセルの背景に画像を表示する…………… 126

● <TABLE>タグ、<TH>タグ、<TD>タグにBACKGROUND属性を指定する……………

- 9 テーブルを効果的に使う ● テーブル枠でさまざまなレイアウトを作り出す…………… 128

- 10 テーブルの枠の一部を非表示にする ● <TABLE FRAME=>★</TABLE>、<TABLE RULES=>★</TABLE>…………… 130

●トラブルシューティング 「テーブルの高さが指定した通りにならないのですが」

「セルの中で勝手に改行されて困っているのですが」
「テーブルの枠線に色は付けられませんか」

第6章

リンクを張る

..... 133

●この章でできること 134

41 どんなリンクが必要かを考える ●リンクの種類と効果的な使い方 136

42 ほかのページにジャンプするためのリンクを設定する ●★タグでリンクを設定 138

43 外部サイトへのリンクを新しいウィンドウに表示する
●★ TAGET=#タグでリンクを設定 142

44 同じページ内の違う場所にリンクを張る ●★タグ、★タグでリンクを設定 144

45 ほかのウェブページの指定箇所にリンクを張る
●★タグ、★タグでリンクを設定 146

46 リンクを選ぶとメールを送信できるように指定する
●★タグでメール送信を設定 148

●トラブルシューティング 「リンクをクリックしても、リンク先が表示されません」
「リンクを設定したら、画像に枠が付いて困っています」
「どこでもリンクを張っていいのですか」 150

第7章

インターネットに公開する

..... 151

●この章でできること 152

47 プロバイダにサーバースペースを借りる ●comでホームページの申込みをする 154

48 インターネットエクスプローラでファイルを転送する ●ブラウザをFTPソフトとして使う 156

49 FTPソフトをインターネットで入手する ●FTPのダウンロード 160

50 FTPソフトの設定をする ●プロバイダのFTPサーバーを登録する 162

51 サーバーにファイルを転送する ●FTPでファイルをアップロードする 164

第8章

フレームを使いこなす

- この章でできること 170
- 52 フレームでページを分割する ●<FRAMESET>★<Vタグ>、<FRAME SRC=>★<Vタグ>で作る 172
- 53 指定したフレームにリンク先を表示する
●<FRAME SRC=>★<NAME=>★<Vタグ>と◆<TARGET=>★<Vタグ>で表示するフレームを指定 176
- 54 フレームの境界線を非表示にする ●<FRAMESET FRAMEBORDER=>★<Vタグ>で表示と非表示を切り替える 180
- 55 境界線の幅を変える、色を指定する
●<FRAMESET>タグに<BORDER>属性、<BORDERCOLOR>属性を指定 182
- 56 フレームの大きさを変えられないように固定する ●<FRAME>タグに<NORESIZE>属性を付ける 184
- 57 フレームから内容までの間隔を指定する
●<FRAME>タグに<MARGINWIDTH>属性と<MARGINHEIGHT>属性を付ける 186
 - トラブルシューティング
「フレーム内に指定した文書が表示されません」
「フレーム内に別のサイトをリンクさせてもいいですか」
「友達から「フレームを使っていると見られない」と言われたのですが」 188
- 11 カウンターや掲示板を付ける ●カウンターサービスやレンタル掲示板を利用する 166
 - トラブルシューティング
「うまく転送できないのですが」
「転送したウェブページでリンクが外れてしまいました」
「プロバイダでサーバースペースを貸してくれませんか」
「借りたサーバースペースでは足りないのですが」 168

索引

索引-1 188

第1章

HTMLの基本

ウェブページを作るには、いろいろな方法があります。専用のウェブページ作成ソフトを使う方法と、HTMLを手で打ち込んで作る方法です。ソフトを使えばHTMLを学ぶより簡単なのに、なぜHTMLを勉強するのでしょうか。ここでは、HTMLを知ることのメリットや、HTMLを使うための準備など、ウェブページを作るための基礎知識を説明します。すでにご存じのことでも多いかもしれませんが、確認のためにも目を通してください。

この章の内容

- ① ウェブページの正体はHTMLで書かれた文書のこと……………2
 - ② ウェブページはサーバーにのせて初めてインターネットにデビューできる…4
 - ③ ウェブページをインターネットに公開するまでの流れをつかむ……………6
 - ④ ウェブページを作るために用意する道具……………8
 - ⑤ HTMLを覚えることのメリット……………10
- トラブルシューティング……………12

1

ウェブページの正体はHTMLで書かれた文書のマツド。 ウェブページとHTMLの基礎知識

●ウェブページとは

そもそもウェブページとは何なのでしょう。

ウェブとは、「World Wide Web」の通称であり、インターネットが提供するサービスのひとつです。WWWと略されることも多く、「世界中に張り巡らされた蜘蛛の巣」といった意味があります。インターネット自体、蜘蛛の巣のように世界中のコンピュータをつなぐものですが、その蜘蛛の巣を自由に行き来して情報を集められるのは、WWWというサービスのおかげです。

ウェブページは、WWWサービスで情報を提供する文書のこ

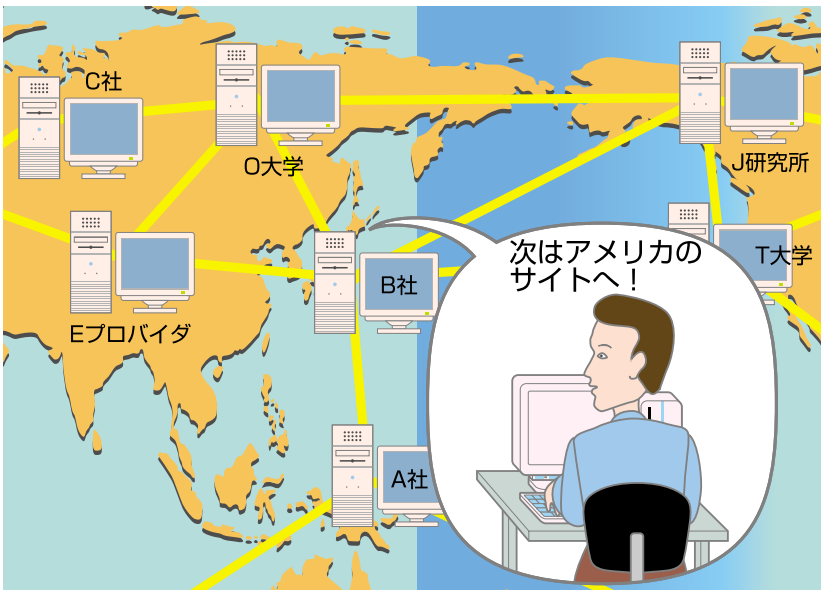
とです。ウェブページは「ホームページ」と呼ぶこともありませんが、ホームページには「サイトのトップページ」とか、「ブラウザで最初に表示されるページ」といった複数の意味があるので、本書では「ウェブページ」と呼ぶことにします。

●ウェブページの特徴

この本を手にとった人なら、すでにたくさんウェブページを見ていると思いますが、ここでウェブページの特徴をおさらいしておきましょう。

ウェブページの第一の特徴といえば、文字だけでなく、画像や音声、動画などを織り交ぜた多彩なレイアウトが楽しめるこ

👉 WWWで世界中の情報を収集



ウェブページ上に設定されたハイパーリンクをクリックすれば、リンク先のウェブページやファイルを表示できます。地球の裏側にあるウェブページだって、クリックひとつでジャンプ！

とです。WWWが登場するまでは、文字だけしか表示できなかったことを考えれば、格段の進化と言えるでしょう。

もうひとつの大きな特徴は、ウェブページ上のリンクをクリックするだけで、ほかのページや目的の情報を表示できることです。正式には「ハイパーリンク」と呼ばれる機能ですが、単にリンクと呼ぶのが一般的になってきました。リンクのおかげで、ウェブ上を自由に行き来できるといわけです。

●ウェブページの正体はHTML文書

ウェブページを見るときは、「ブラウザ」と呼ばれるソフトウェアを使います。「インターネットエクスプローラ」や「ネットスケープ」が、代表的なブラウザです。

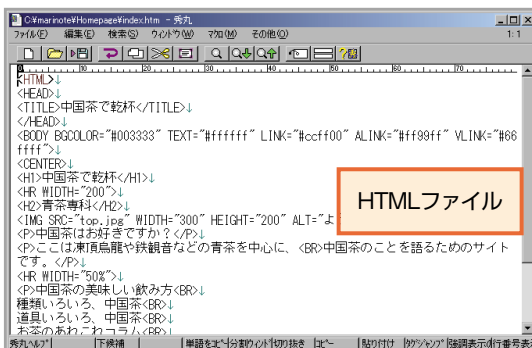
ブラウザでは、文字や画像、動画などさまざまな情報が1ペ

ージに表示され、ひとつの文書ファイルのように見えます。しかし、その実体は、「HTMLファイル」と呼ばれる文書ファイルと、画像や動画などのファイルに分かれています。

「HTMLファイル」には、ウェブページに表示されている文字データだけではなく、その文字をどんな大きさでどこに表示するか、画像などをどう配置するかといったレイアウト情報や、ハイパーリンクに関する情報も含まれます。これらの情報は「HTML」という言語で記述されているので、「HTMLファイル」と呼ぶのです。ウェブページのソース（基本要素）という意味で、「ソースファイル」と呼ぶ場合もあります。ウェブページを作るといふことは、HTMLファイルと、そのページに必要な画像などのファイルを準備することにほかなりません。

👉 HTMLファイルを見てみよう

HTMLファイルは、ウェブページに表示される文字と、色・サイズ・配置などのデザインを指定する命令が書かれたテキストファイルです。画像・動画・音楽などは、HTMLファイルと別に用意します。HTMLファイルをブラウザで見ると、指定したデザイン通りに表示されます。



●サーバーはプロバイダで借りられる

といっても、WWWサーバーを自分で持つ必要はありません。ほとんどのプロバイダでは、サーバーの一部を顧客向けに貸し出しています。多くのプロバイダは無料で貸してくれるので、加入しているプロバイダに相談するのが一番です。加入しているプロバイダで借りることができない場合は、無料でサーバーを貸してくれる企業もあるので、心配ご無用。

サーバーが確保できたら、そこに作成したウェブページのデータをすべて転送します。ファイルをサーバーに転送することを「アップロード」といい、ウェブページをインターネットに載せることを「公開する」といいます。

本書では、HTMLでウェブページを作る手順だけでなく、

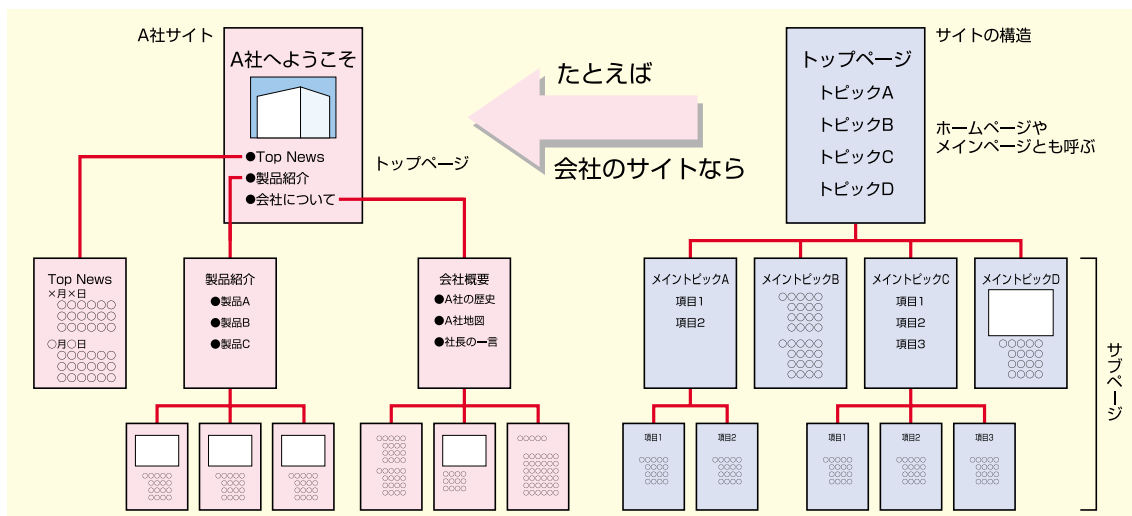
公開までの手順を詳しく説明していきます。

●ウェブページがまとまるとサイトになる

インターネットには数え切れないほどのウェブページが公開されています。それらのページはバラバラになっているのではなく、「サイト」というまとまりで管理されています。たとえば企業のサイトには、製品紹介のページや人材募集のページ、会社案内のページなど、たくさんのウェブページがあります。中には数千ページもあるサイトもあれば、たった1ページしかないサイトもあります。

サイトにアクセスしたとき、最初に表示されるページを「トップページ」と呼びます。トップページ以外のページは、「サブページ」と呼ぶことも覚えておきましょう。

👉 ウェブページはサイトとしてまとめて考えよう



サイトの入り口となるのがトップページです。それ以外のページはサブページと呼ばれます。各ページはハイパーリンクで結ばれています。たとえば企業のサイトなら、こんな階層構造になっていることが多いものです。

3

ウェブページをインターネットに公開するまでの流れをつかむ。

●初めてサイトを作るときの手順

●サイトの全体像から考える

ウェブページを作るときに、いきなりHTMLファイルを作り始めるのは得策と言えません。個々のページを考える前に、サイト全体の構成、デザイン、コンセプトなどを考えておくのが、賢い方法です。

サイトの全体像から考えていくことは、サイトを訪れた人にとって親切なサイトを作ることにつながります。サイト内でのリンクをたどって別のページに行ったときに、各ページがバラバラなデザインだと、「別のサイトに来ちゃったかな？」と不安を抱かせてしまいます。また、個々のページに気を取られてい

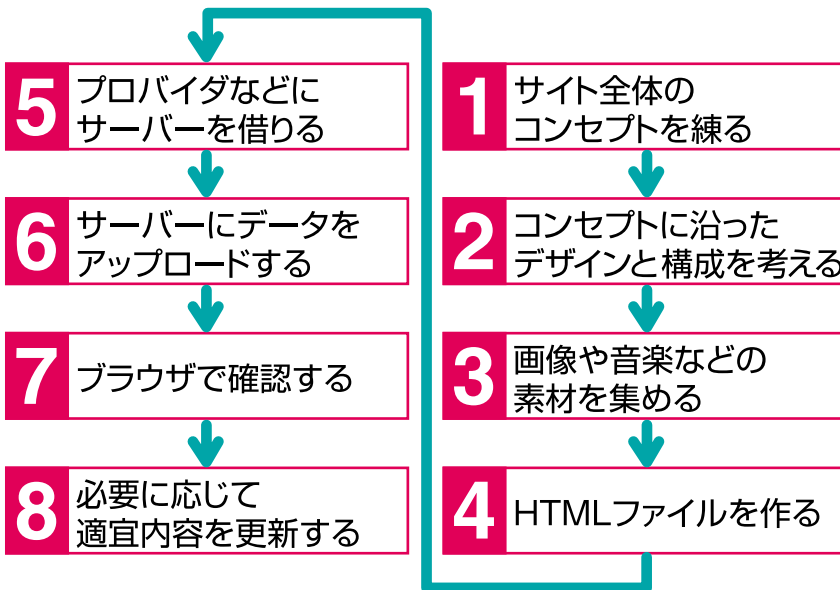
ると、トップページに戻るためのボタンを付け忘れたりして、使いづらいサイトになることが多いものです。

下図のような手順でサイトを作っていけば、スムーズにサイトを作れるだけでなく、見る人が迷子になりにくいサイトを考えることができます。

●コンセプトは明確に

サイトのコンセプトといっても、大げさに考えることはありません。個人のサイトには、自己紹介や日記的な文章を中心にしたものもたくさんあります。ただし、単なる自己紹介や日記は、有名人や知人のものでない限り、あまり読みたくなるも

👉 サイトを公開するまでの手順



のではありません。自己紹介の中で「私の趣味は野球です」と書くよりも、「熱狂的××ファン」というサイトにして、最員の球団や試合結果について熱く語った方が、人気サイトになれる確率は高そうです。

サイトの名前にしても、「飲み物に関するサイト」というよりは、「カクテル専科」や「居酒屋バンザイ」など、内容が一目でわかるようなものの方が、人を集める効果があります。サイトの目標をはっきりさせて、見る人にもそれが伝わるようなサイトを作っていきましょう。

●サイトの構成は紙に書いてまとめよう

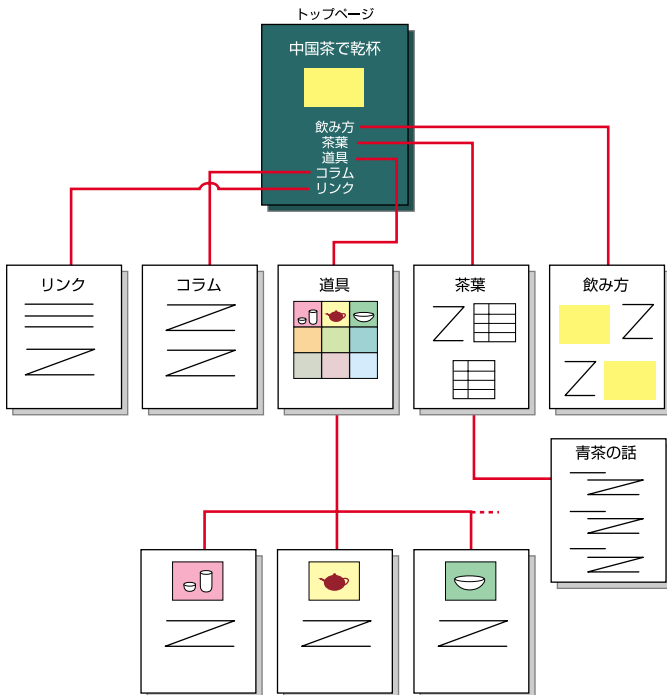
コンセプトが決まったら、柱となる項目を考えます。たとえばお酒のサイトなら、「日本酒の分類」、「美味しい飲み方」、「お勧めの居酒屋」など、さまざまな項目が考えられます。自

分で書けそうもない内容であれば、その情報に詳しいサイトを探し、リンクを張らせてもらうという手もあります。リンク集も立派なコンテンツです。

サイトの骨子は、下図のようなチャートを書いてまとめていくのがお勧めです。もちろん、手書きのラフで構いません。こうして全体像を整理しておけば、どこにどんなボタンが必要か、足りないページはないかといったチェックができ、バランスの良いサイトができます。

全体像が見えてきたら、そのサイトに相応しい色使いや、デザインを考えます。たとえば、日本茶のサイトであれば日本の伝統的な絵柄を入れてみようと、背景色は薄い緑で統一しようといったイメージを思い浮かべるのです。ここまで来たら、いよいよ実際のページ作成に入ります。

👉 この本で作るサイト（サンプルサイトの構成）



トップページの目次から、サブページにジャンプします。サブページも1ページが長くないよう、さらに別のサブページにジャンプさせたり、必要に応じてトップページに戻れるようなボタンを付けたりして、使いやすいサイトを考えます。

4

ウェブページを作るために用意する道具。 ●ウェブページ作成に必要なものを揃えよう

●画像などの素材を作るために必要な道具

ウェブページを作るためにま
ず必要になるのが、そのページ
で使う画像や音声などの素材を
作る道具です。

デジカメで撮った写真なら、
そのデータをパソコンに取り込
み、ウェブページで扱える
「JPEG形式」や「GIF形
式」の画像ファイルとして保存
します。プリントした写真や手
書きのイラストなら、スキャナ
でパソコンに取り込みます。

画像のサイズ変更、トリミン
グ、色修正などが必要な場合は、
「フォトショップ」や「ペイン
トショッププロ」などの「画像

処理ソフト」があると便利です。

動画や音声を扱うのであれ
ば、専用のソフトを用意します。
また、「自分で作るのは面倒」
という人なら、自由にコピーで
きる「素材集」を購入してもよ
いでしょう。

ただし、ほかのサイトにある
画像などをコピーして使っては
いけません。著作権法に触れる
場合があるので、「自由にお使
いください」といった但し書き
のないサイトからは、コピーし
ないように注意してください。

●HTMLを自分で書くなら エディタを使う

次に必要なのが、HTMLを
書くためのソフトウェアです。

HTMLファイルは、文字だけ
のテキストファイルなので、
「エディタ」というソフトを使
うのがベストです。

エディタは、文字を入力する
ためのソフトウェア。「文字っ
てワープロで入力するもんじゃ
ないの?」という方もいるでし
ょうが、ワープロソフトには文
字入力以外に文字を装飾した
り、画像を張り込んだりといっ
た機能が付いています。エディ
タはそういった機能を省き、文
字入力だけをより速くできるよ
うにしたソフトウェアなので
す。

ウインドウズには「メモ帳」
というエディタが付属していま
すが、「メモ帳」は扱える文字

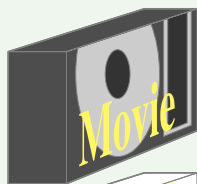
数が少ないので、本格的に作る
なら別のエディタを用意した方
がよいでしょう。本書では「秀
丸エディタ」(シェアウェア・
[http://hidemaru.xaxon.co.jp/
software/hidemaru.html](http://hidemaru.xaxon.co.jp/software/hidemaru.html))よりダ
ウンロード可能)を使っていま
す。

●確認からアップロードまで に必要な道具

できたウェブページを確認す
るために、ブラウザを使います。
ウェブページをサーバーにアッ
プロードするためには、通常
「FTPソフト」を使いますが、
「インターネットエクスプロー
ラ」のようにアップロードまで
できるブラウザもあります。

ウェブページ作成に必要なソフト・ハード

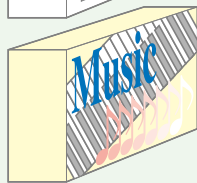
あるといいな



動画作成

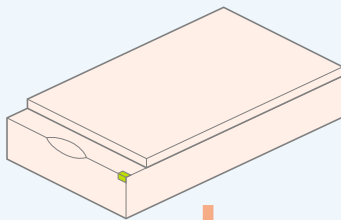


素材集

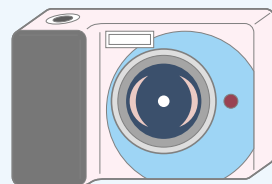


音楽ソフト

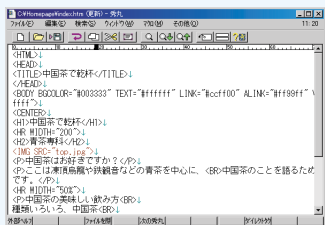
スキャナ



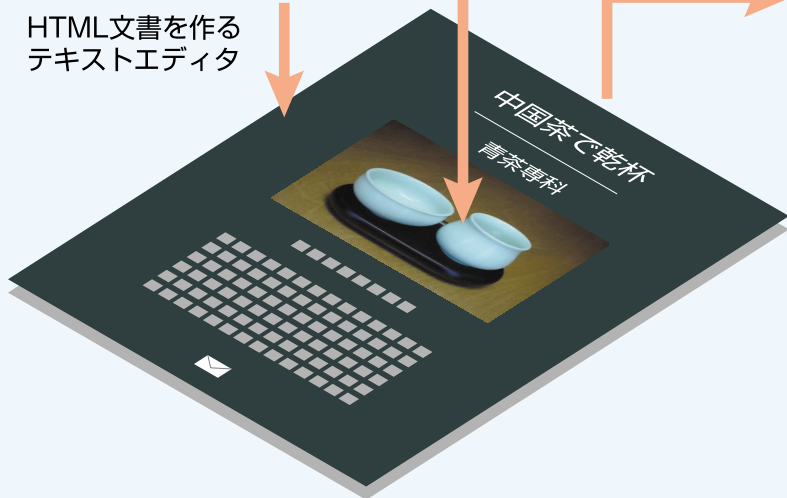
デジカメ



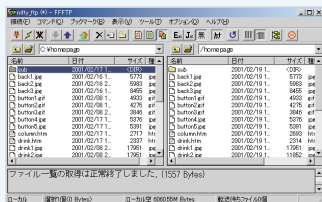
- ・デジカメ付属のソフト
- ・Photoshop (フォトショップ) などの画像処理ソフト



HTML文書を作る
テキストエディタ



作った文書を確認
するブラウザ



アップロードのための
FTPソフトまたは
インターネットエクスプローラ

HTMLを覚えることのメリット。

●HTMLファイルを作るためのソフトウェアについて

この本を手にとったあなたは、なぜHTMLを覚えようと思ったのでしょうか。世の中には、「ホームページ作成ソフト」のようにHTMLがまったくわからなくてもウェブページを作れるソフトウェアもたくさんあります。ワープロソフトでも、DTPソフトでも、HTMLファイルを作れるものが増えていきます。なのに、なぜHTMLを覚える必要があるのでしょうか。

●メリット1…ファイル容量が少なく、管理しやすい

エディタでHTMLを一行ずつ書いていくと、最低限必要な文字数でHTMLファイルを作ることができません。これに引き

換え、ほかのソフトでHTMLファイルを作ると、ファイルの中に余分な行が勝手に書き込まれることがよくあります。ソフトによってはかなり多くの行が余分に書き込まれるため、ファイル容量が増え、そのページを見るとときに余分な時間がかかることになります。

また、画像などのファイル名を自分で指定できないものも多く、ファイルの管理が難しくなります。このように、HTMLファイル自体も、ほかのファイルも、自由に変更することが難しくなるのです。エディタで作れば、すべて自分の管理下ですから、そんな心配はいりません。

●メリット2…HTMLのすべての機能を使える

エディタ以外のソフトでHTMLファイルを作る場合、そのソフトに用意されている機能しか使うことができません。HTMLが使えれば、HTMLの機能を自由に組み合わせることで、ページを作ることができます。

●メリット3…作ったウェブページを自在に変更できる

ホームページ作成ソフトなどで作成したウェブページが気に入らない場合でも、HTMLの知識があれば、HTMLファイルを修正することができます。つまり、ホームページ作成ソ

フトを使った方が楽な部分だけそちらを利用し、気になる部分をエディタで直すこともできるのです。

●メリット4…すてきなページの仕組みがわかる

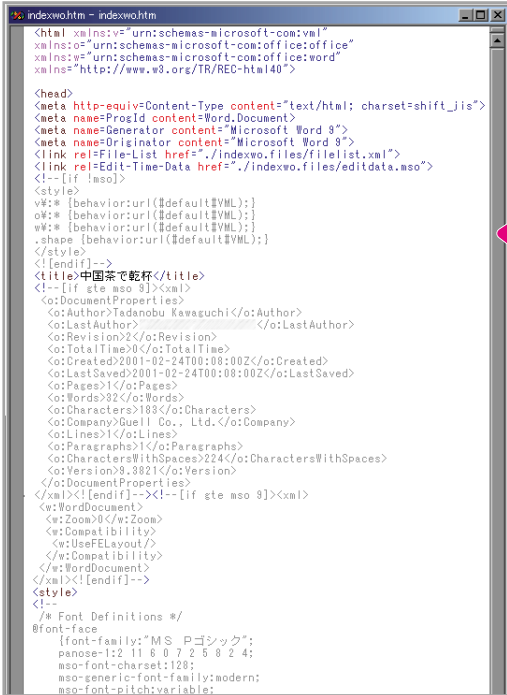
「このページ、どうやって作ってるんだろう？」と思ったら、そのHTMLデータを覗いてみましょう。HTMLデータは、ブラウザで簡単に開くことができます。

HTMLがわかれば、その仕組みも理解できるはず。ウェブページの内容を真似してはいけません、仕組みを参考にするのはかまいません。

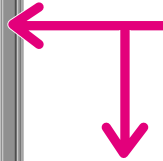
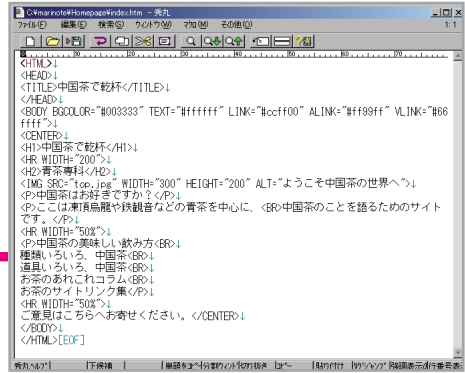
👉 エディタとほかのソフトの違い

ウェブページの作成ソフトだけでなく、ワープロソフトやDTPソフトなど、さまざまなソフトウェアでHTML文書の作成ができます。ただし、エディタで1行ずつ書くのと違い、ソフトウェア独自の情報が自動的に書き込まれるため、自分では管理しづらいHTMLドキュメントになることも珍しくありません。

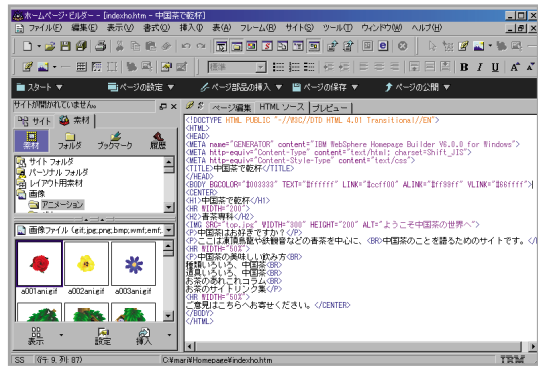
ワープロソフト「Microsoft Word 2000」で保存すると、なんとHTMLファイルの行数は約10倍



エディタで作ったHTMLファイル



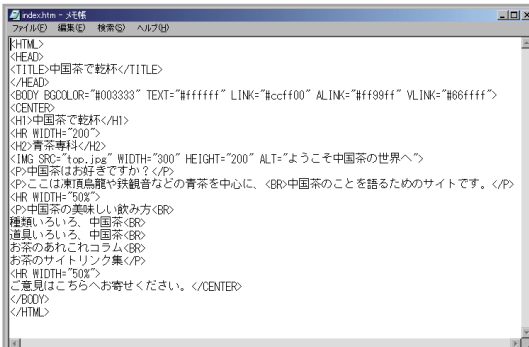
同じ内容をウェブページ作成ソフト「ホームページビルダー ver.6」で保存すると、自動的に行数追加されます



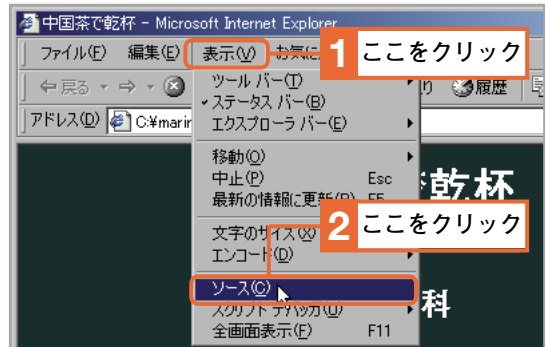
まだまだ続くHTMLファイル。フォントなど特に指定していない情報がとても細かに指定されるのが原因。自分で記述したつもりでない著名なども記述されるので、要注意です。

👉 ブラウザでソースのHTMLを表示するには

2 ウィンドウズであれば、付属のエディタであるメモ帳が起動して、HTMLデータが表示されます。



1 インターネットエクスプローラでは、[表示]メニューの[ソース]を選ぶと、HTMLデータを見ることができます。



トラブルシューティング こんなとき、どうする？

■HTMLは誰が考え出したのですか？

タイム・バーナーズリー博士が、ハイパーテキストマークアップ言語(HTML (HyperText Markup Language))を考え出しました。博士は、HTMLだけでなく、ウェブページのアドレスであるURLや、HTTPプロトコルなど、WWWの基礎を考えた人です。

現在、HTMLの基準を決めているのは、W3C (World Wide Web Consortium) という非営利団体です。博士もW3Cのディレクターとして参加しています。

■最新のブラウザを入手する方法がわかりません

本書の執筆時点でもっとも新しいブラウザは、インターネットエクスプローラならバージョン5.5、ネットスケープならバージョン6です。マッキントッシュ版のインターネットエクスプローラは、バージョン5が最新です。

こういった最新のブラウザは、開発元のメーカーのウェブページからダウンロードするのが一番早く入手できます。インターネットエクスプローラならマイクロソフト社 (<http://www.microsoft.com/>)

(<http://www.microsoft.com/japan/>)、ネットスケープならネットスケープ社 (<http://www.netscape.com/ja/>)で、最新情報を確認したり、最新版をダウンロードできます。

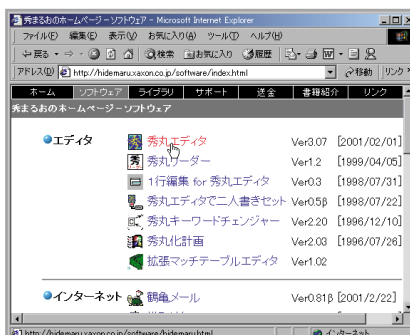
ただし、ブラウザによってはファイルの容量が10MBを超え、ダウンロードに30分以上かかることも珍しくありません。メーカーでは、有償でCD-ROMを郵送してくれる場合もあるので、都合のよい方法で入手するとよいでしょう。

■秀丸エディタを入手する方法がわかりません

本文中でも紹介したように、秀丸エディタは作者のウェブページ (<http://hidemaru.xaxxon.co.jp/software/hidemaru.html>) でダウンロードできます。

ダウンロードして使い始めるのは無料ですが、秀丸エディタがシェアウェアだということを忘れてはいけません。シェアウェアとは、使ってみて気に入ったら料金を払うソフトウェアのこと。ずっと使うようなら、シェアウェア料金(秀丸エディタなら4000円)を払うようにしてください。支払方法は、秀

丸エディタのヘルプに記載されています。



秀丸エディタはここでダウンロードできる

■自分のウェブページを持つのにお金はかかりますか？

ウェブページをインターネットで公開するには、サーバーを借りなくてはなりません。プロバイダによっては無料でサーバーを貸してくれます。ただし、ウェブページのデータをサーバーに転送したりする分、インターネットを利用する時間は増えますから、プロバイダーの利用料金や電話料金は増える可能性があります。

エディタさえあればウェブページは書けますが、デジカメや素材集などが欲しくなるかもしれません。要は作り方次第です。